

新型コロナウイルス感染症対応で実施した情報発信等に関する振り返り

令和5年12月 千葉県

[趣旨]

新型コロナウイルス感染症対応における情報発信等について、発信力の強化、広報・リスクコミュニケーションの観点から課題等を整理し、今後の新たな感染症が発生した際の対応に活かすことができるよう、振り返りとして取りまとめた。

[構成]

1 感染状況等の概況と主な情報発信の変遷 図表 1

2 県の主な取組

県民一人ひとりが正確な知識や情報に基づき、適切な行動がとれるよう、定例会見のほかホームページやSNS等を活用し、**最新の情報を多くの方にわかりやすく発信**することに努めた。また、**相談窓口等を開設し県民の疑問・不安に対応**するとともに、市町村、医療機関など**関係機関との情報の共有・意見交換**を行った。

(1) 各種媒体による情報発信

- ア 実績
- 知事記者会見において、県の対策（予防対策、外出自粛、各種支援策等）を県民に向けて説明するとともに、知事ビデオメッセージでのアナウンスなどを行った。併せて、Yahoo!防災速報なども活用し、県の対策等を迅速に、多くの方に発信した。
 - 感染拡大に伴い、その日の午後に週休日を含め毎日、当日確認した感染者数を発表するとともに、新規感染者数や病床使用率等とその1週間の推移等を県ホームページに掲載した。
 - 県ホームページ等により県在住・訪日の外国人の方へ情報発信を行うとともに、外国人相談窓口や多言語相談ホットラインを通じて情報提供を行った。
 - 新型コロナウイルス感染症に関する差別をなくすため、知事による動画メッセージを発信した。
- イ 評価・課題
- 県民一人ひとりが自分事として捉えていただけけるよう、一方的な呼びかけではなく、県の感染状況や取組状況も併せて発信するなど、**わかりやすく納得感が得られるよう工夫して情報発信し、県民の協力が得られた。**
 - ポータルサイトの改修などにより新型コロナに関する**情報を整理し必要な情報にアクセスしやすくする**とともに、療養解除カレンダーを公開するなど、問い合わせの多かった事項についてわかりやすく情報提供を行った。
 - 広報紙、テレビ、ラジオ、SNSなどを活用し、新型コロナウイルスの特性や感染対策、感染状況、県の取組を発信することにより、**正しい知識や正確な情報を繰り返し伝えた。**
 - 新型コロナウイルスの病原性や感染状況、熱中症リスク、子どもの成育への影響を踏まえ、保育所の屋外でのマスク着用を不要とすることを例示・発信することで着用方針が緩和された。

(2) 情報の共有・意見交換

- ア 実績
- 県対策本部会議に保健所設置市・市長会・町村会が参画（R3.4以降）、専門部会では感染症の専門家等から意見を伺うなど医療機関との情報共有・意見交換も図った。また、保健所を持たない市町村の間でも、夜間・祝休日にも対応した連絡体制の構築や、県からの協力要請などの対策に事前の意見を求めること、地域振興事務所を通じた意見・要望等の把握などの連携を図り、感染情報や国対処方針等の共有に努めた。
 - 新型コロナウイルス感染症に関する各種疑問などに対応する窓口を設置し、県ホームページではQ&Aを掲載した。
 - 組織的に適切な情報発信を行う体制の向上に寄与するリスクコミュニケーションに関する庁内研修の機会が引き続き設けられた。
- イ 評価・課題
- 感染者情報等の公表に当たっては、県内の公表情報が統一されたものとなるように、**平時から保健所設置市と連携を図る必要**がある。
 - 新型コロナウイルス感染症の対策を決定し実施するに当たっては、**市町村や医療機関等と情報共有・情報交換を行いながら取り組んできたが、政府からの情報が直前まで示されなかったことで、対応に苦慮した。**
 - 各地域において医療機関等との連携を強化することが、リスクコミュニケーションを高めることにつながるため、**地域健康危機管理推進会議等を活用した情報連携などを検討していく必要**がある。

新型コロナウイルス感染症対応で実施した情報発信等に関する振り返り

3 情報発信の内容等

(1) 定期的に公表を行った主なデータ

① 新規感染者情報

- ア 変遷 「年代」「性別」「居住地」等、新規感染者に係る情報の公表内容の見直しの変遷
- イ 評価・課題 感染者に接触した可能性のある者を把握できているかどうかによって公表する情報を調整するなど、**感染状況に応じて随時公表内容を見直すべき**だった。感染者が少ない時期においては、公表情報が個人の特定につながるおそれがあった。新規感染者情報については、感染拡大防止効果や保健所コア業務の円滑な遂行を踏まえて順次見直しを図ったものの、感染拡大後も毎日の発表や詳細な情報の公表を続けるなど、感染状況に応じた対応が取れなかったことが、保健所に負担をかけていた。

② クラスター情報

- ア 変遷 「施設名称」「施設所在地」等、クラスターに係る情報の公表内容の見直しの変遷
- イ 評価・課題 個々のクラスターの情報について、差別や偏見などがないように呼びかけながら、施設名称やクラスター内の年代、性別等の発生状況などの詳細情報を公表したが、感染拡大防止の効果を随時確認するとともに、保健所業務の負担も考慮して、**感染症発生期から拡大期までの各段階において公表内容を見直すべき**だった。公表情報の見直しが遅れたことから、誹謗中傷を恐れた保育・教育現場や医療現場をはじめとする様々な場面において、社会活動との両立を進める上で影響があった。

③ 死亡者情報

- ア 変遷 「年代」「性別」「居住地」等、死亡者に係る情報の公表内容の見直しの変遷
- イ 評価・課題 感染状況に係る重要な情報ではあるが、公表の効果や保健所業務の負担を考慮して、**感染症発生期から拡大期までの各段階において公表内容を見直すべき**だった。また、国通知に基づく死亡者数の集計は都道府県ごとに運用の差があり、千葉県では、死因を問わず、新型コロナウイルスの感染が確認された死亡者を報告していた。そのため、公表時のデータでは千葉県が1都3県で人口当たり死亡者数が最多となった。

④ 感染症関連情報

- ア 変遷 県HPに掲載していた、感染者数や病床使用率等の1週間分の推移をまとめた推移表に係る情報の公表内容の見直しの変遷
- イ 評価・課題 感染者数や病床使用率などの指標とその推移を公表することは、感染拡大防止対策に係る県民の理解や適切な行動を促すことに大きな意義があった。一方で、**感染症発生期から拡大期までの各段階において公表の頻度・内容については、見直すべき**だった。

(2) その他の情報発信

① 救急搬送（平時の情報発信）

平時から情報発信することで、感染流行期においても**救急車の適正利用の確保や過度な不安の解消**が図られるように備える必要がある。

② 学校における感染対策（日常生活の回復に向けた呼びかけ）

感染対策を緩和していく過程において、科学的知見等に基づき、**感染拡大防止策と学校での教育などとのバランス**を考慮して対応を求める必要がある。

新型コロナウイルス感染症対応で実施した情報発信等に関する振り返り

4 今後の新たな感染症発生に備えて

- ・ 情報発信の際には、可能な限りエビデンスを充実させ、情報内容や対策の趣旨の正確な理解を促し、対策への協力が得られるように努めることが必要
- ・ 対策本部会議への保健所設置市等の参画など、感染初期の段階から関係者間での情報共有を図ることができる体制を整備しておくことが必要
- ・ 新規感染者やクラスター等に係る情報の公表について、混乱を避けるため、あらかじめ保健所設置市と公表内容等の考え方を共有しておくとともに、県民や報道機関に対しても公表を行う意味・目的を共有しておくことが必要
- ・ 新規感染者やクラスター等に係る情報について、公表情報の見直しに時間がかかったことから、国からの情報提供や感染症の特性、感染状況等に応じて対応を変化させていくことが必要

主な公表データと感染状況の推移

